



鹿追町長 吉田弘志



鹿追町議会議長 埴 渕 賢 治

町民一人一人が困難克服への
チャレンジヤーに

町民の皆様、あけましておめでと
うございます。

輝かしい新春を、皆様とともに迎
えられましたことを心からお祝い申
上げます。

新しい年が皆様はもちろん、鹿追
町に繁栄をもたらす素晴らしい年にな
りますことを心から願うものであ
ります。

昨年1年を振り返ってみますと、
東北地方を震源地とする3・11東日
本大震災は尊い多くの生命、財産を
奪い、更には、原発事故を誘発せし
め、その復興には計りしれない時間
と費用を必要とするなど、日本列島
を悲しみのどん底に落としめたので
あります。また、9月の集中豪雨は
農業を主なる産業とする本町とつて
の影響は極めて大きかったのであり
ます。

しかし、こうした状況下であつて
も、平成23年の本町農業生産総額で
は前年度を若干ではあります。上
回ったことは、農家はもちろん、関
係機関皆様のご努力とご指導の賜と
衷心より、御礼を申し上げます。

さて、こうした中、新しい年を迎
え、我が国の今年を占うには早計か
もしれませんが、政治経済ともに大
町民の皆様、新年あけましておめ
でようございます。

皆様におかれましては、新春を健
やかに迎えのこととお喜び申し上
げます。

今年は皆様にとつて、新年にかけ
る決意と、その期待に夢が膨らみ、
更に良好な年であることをご祈念申
上げます。

さて、本町の基幹産業である農業
は、地球温暖化に伴い、日照不足や
降雨量といった自然現象の影響はあ
りましたが、史上最高の農業生産額
となり、その部門の中でも特に酪農
業では総生産額の54%を占めている
状況の下、JAを始めとした関係機
関の支援体制と自助努力の賜物と敬
意を表するものです。

きな課題を引きずっての平成24年は
TPP問題など、何もかもが不透明
な状況であり、一層その厳しさを覚
悟しなければならぬと考えるもの
であります。

このことから、私は今年はこの困
難を克服するため町民一人一人が
「チャレンジヤー」であるべき年と
願っています。

「待ちの姿勢ではない」「下向きで
ない」「課題に対し果敢に立ち向か
う」チャレンジヤーの心が求められ
る年ではないでしょうか。

医療福祉の核となる町立病院の改
築完成が間近に控えています。小中
高一貫教育、農地再編、高台地区基
盤整備事業など、継続事業はもとよ
り、農業の6次化（生産、加工、販売）、
再生可能エネルギー関連事業など、
今後の本町における経済の柱となる
事業を積極的に推進しなければなら
ません。

一方、観光事業の展開を図り、商
工振興につなげる所存であります。
しっかりと経済に支えられ、福
祉の充実した誰もが笑顔で暮らすこ
とのできる「まち」づくりは、私の
積年の願いであり、永遠の希望であ
ります。

今年も町民皆様のご多幸を願い、
共に頑張ることをお誓いし、年頭の
ご挨拶といたします。

視察調査してきたことに、大きな意
義があつたと考えます。

昨年は、統一地方選挙により町議
会選挙が行われ少数精鋭11名の議員
が誕生しました。町政舵取り役の町
理事者と共に、安心・安全な住み良
い鹿追町の発展を願い邁進する所存
であります。

特に、議会活動においては、議会
及び議員に係る基本的事項を定めた
「鹿追町議会基本条例」の下に、町
民参加型の議会づくりと豊かなまち
づくりの実現に向けた「まちなか会
議」（議会報告会・懇談会・意見交
換会など）を9回開催させていただ
きました。

具体的な内容については、商工業
の振興策、観光振興策、教育の取り
組み、農畜産物6次産業化、議会報
告会（2回）など、町民との対話を
図り、町民の意向の把握に努め情報
の提供と共有化を進め、多様な民意
を合意形成し政策提言につなげてお
ります。

日頃、皆様には町議会に対する温
かいご理解と絶大なご協力を賜って
おりますことに、議会を代表して衷
心より深く感謝申し上げます。次第でご
ざいます。

最後に町民皆様には、更なるご指
導とご支援、ご協力を賜りますよう
心からお願いを申し上げます。新年
のご挨拶といたします。